

2009年度

科目名	観光ビジネス			コード	53640
担当教員	吉井 秀一			単位数	2
配当	人社3	講時	金曜日3限	単位数	2
開期	後期	講時	金曜日3限	単位数	2
授業テーマ	観光ビジネス最前線				
目的と概要	<p>「ニューツーリズム」という言葉をキーワードに、観光ビジネスの最前線が現在どうなっているのかを、できる限り現場を見たり関係者に会ったりしながら、見て行きたいと考えています。2008年10月、国土交通省に観光庁が創設され、2010年には日本を訪れる外国人旅行者を1000万人しようとの計画が進められています。しかし、国内の旅行者を含めて、観光旅行をしたいと思う人たちの立場に立つと、現在の旅行代理店、ホテルや旅館、交通機関、みやげ物屋、飲食店など観光ビジネスに従事している会社や地域が、観光客のニーズに応じた体制・組織になっているのか？需要に応じたサービスを提供できているか？など疑問点がたくさんあります。マストツーリズムに代表される従来型の観光旅行がなぜ斜陽化し、ニューツーリズムが生まれてきたのかを、机上の学習だけではなく授業を通して考え、観光ビジネスの将来を探ります。</p>				
成績評価法	学期末にレポートを提出(70%)＋授業時の発言やミニレポート(30%)				
テキスト	特に定めません。				
参考書	必要に応じて紹介します。世の中の流れをつかむために新聞を読んでおいてください。話題性のある記事を授業で取り上げます。				
履修に当たっての注意・助言	観光は本来楽しく、リラックスできるものです。楽しくやりたいと思っています。				
講義計画					
第1回	観光の現状				
第2回	ニューツーリズム(1)ーどんな旅行なのか				
第3回	ニューツーリズム(2)ー登場の背景は				
第4回	ニューツーリズム(3)ー人気のある旅行の具体例				
第5回	ニューツーリズム(4)ー旅行を作る人たち				
第6回	ニューツーリズム(5)ー受け入れ現場の人たち				
第7回	ニューツーリズム(6)ー新しい観光の行く末				
第8回	観光と地域おこし(1)ーケーススタディ				
第9回	観光と地域おこし(2)ーケーススタディ				
第10回	観光と地域おこし(3)ーケーススタディ				
第11回	観光ビジネス最前線(1)ーホテルや旅館				
第12回	観光ビジネス最前線(2)ー旅行会社				
第13回	観光ビジネス最前線(3)ー航空・鉄道業界				
第14回	観光カリスマ				
第15回	まとめー観光ビジネス将来の課題				